

－ふるさと共援活動支援事業－

「松尾ゴボウ掘り体験」開催

要 旨

11月28日(土)、舞鶴市松尾地区で『松尾ゴボウ掘り体験』が開催されました。当日はあいにくの天候でしたが、参加者はドロンコになりながらゴボウ掘りに悪戦苦闘し、収穫作業の大変さを実感していました。昼食では、地元の田舎料理が出され、中丹東普及センターから松尾のゴボウづくりが紹介されました。

松尾地区では、平成20年度から松尾集落と京都大学大学院農学研究科農村計画学研究室が「松尾集落ふるさと共援組織」を立ち上げ、過疎高齢化の進む松尾集落の地域活性化への取り組みを進めているところです。

今回のゴボウ掘り体験は、特産の松尾ゴボウを広く府民に知ってもらうとともに、地域を支援してくれるボランティアメンバー発掘を目的として実施されたものです。

共援組織では、今後も引き続きゴボウを活用した地域活性化の方策を検討していきます。



■ゴボウ掘り作業（雨の中作業は難航）



■ゴボウ畑



■もう少しで抜けそう



■収穫されたゴボウ

- 日時：平成21年11月28（土）
- 場所：舞鶴市松尾
- 参加者：舞鶴市住民14名



■松尾ゴボウの説明



■ゴボウ掘り作業後の記念写真

※ふるさと共援活動支援事業は、地域住民と地域外の大学、NPO、団体等の協力者で構成する「ふるさと共援組織」の地域活性化の活動を支援しています。

